

「社会を変えたい実地医家の勢いある活動とJ-DOME推進」

実地医家部会企画

「実地医家の減塩対策についてーソルコンフェスティバルなど、実地医家部会減塩推進WGの活動紹介」

Salt reduction plan of physicians-salcon festival in kyoto 2022 as a salt reduction promotion team

八田 告/医療法人八田内科医院

日本高血圧学会実地医家部会中央委員/減塩推進WGリーダー



<http://hata-medical-clinic.com/>

COI開示

八田 告/八田内科医院

発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などとして、

- ①顧問： なし
- ②株保有・利益： なし
- ③特許使用料： なし
- ④講演料： なし
- ⑤原稿料： なし
- ⑥受託研究・共同研究費： なし
- ⑦奨学寄付金： なし
- ⑧寄付講座所属： なし
- ⑨贈答品などの報酬： なし



第43回日本高血圧学会総会

The 43rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Hypertension

めんそーれ 実地医家部会！

高血圧診療は 実地医家の肩にかかっています
私たちのいろいろな活動にご参加ください

実地医家部会部会長 日下美穂
副部会長 勝谷友宏
宮川正昭



日本高血圧学会実地医家部会へようこそ

国民の血圧を下げるのは、実地医家！

日本高血圧学会には[こちらから](#)

高血圧でも健康な人と変わらない人生のために

実地医家部会がお手伝いします。安心安全な高血圧治療を目指して！



©2017日本高血圧学会

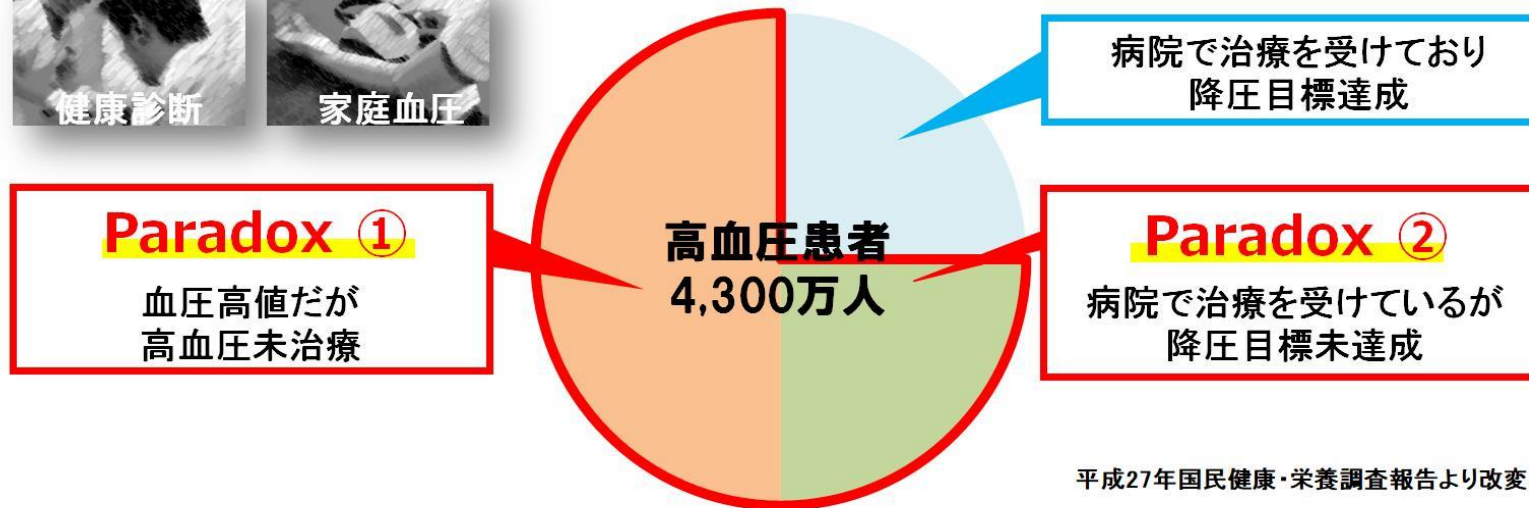
Hypertension paradox

高血圧治療は大きく進歩したが、約3,000万人がコントロール不良

Paradox① : 『診断方法』は進歩したにも関わらず
病院で治療を受けていない人々が存在している

Paradox② : 『治療方法』は進歩したにも関わらず
降圧目標未達成の患者さんが存在している

Chobanian AV., N Engl J Med 2009;361:878-87より改変



減塩推進WG



メンバー紹介（敬称略、順不同）

●リーダー、○サブリーダー

●八田告、○野間玄督、○高瀬浩之、小園亮次、安東克之、
柘植俊直、成味純、青木聡一郎、吉川博之、水田栄之助、
土橋卓也、工藤博司、箕輪均

減塩推進WGメンバー紹介



八田 告



成味 純



土橋 卓也



安東 克之



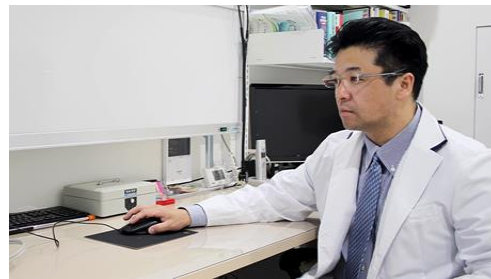
青木 聡一郎



吉川 博之



柘植 俊直



野間 玄督



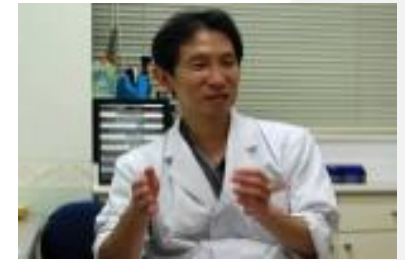
高瀬 浩之



小園 亮次



水田 栄之助



工藤 博司



箕輪 均

4つの骨太の方針

- **心腎不全と減塩推進（循環器病対策推進基本計画関連）**

循環器病対策推進計画としての減塩推進 取り組み紹介（私の減塩自慢連載）などの普及啓発

- **ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022を成功させよう**

ISH2022 in Kyotoの際に減塩サミットを開催する具体案を挙げて実現していく

- **減塩商品・クッキング啓発普及**

減塩委員会とコラボあるいは独自の減塩商品の紹介やクッキング動画の広報

- **食育啓発**

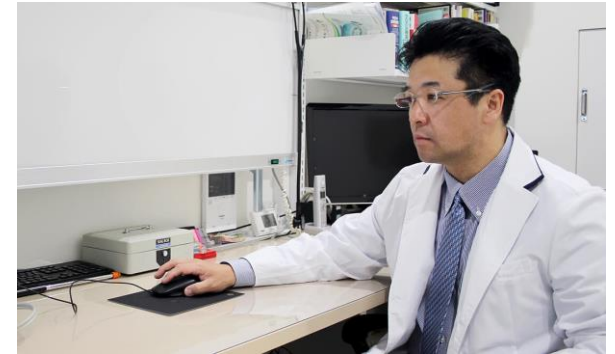
母や子供への減塩食育推進活動の普及（ソルコン教室）、文科省への働きかけ

心腎不全と減塩推進チーム
(循環器病対策推進基本計画関連)

メンバー紹介 (敬称略、順不同)

野間玄督・青木聡一郎・吉川博之・八田 告
(敬称略、太字：リーダー)

心腎不全と減塩推進チーム (循環器病対策推進基本計画関連)



野間玄督

・現在取り組んでいる活動

(1) 減塩の啓蒙のマンガ作成 (手に取りやすい・目を通しやすいため)

現在、ノバルティスファーマと協力して、進んでいる。

患者さんのみならず一般開業医や病院がWebからのプリントアウトを可能とし、より多くの患者様や医療関係者への減塩の啓蒙を目的する。

(2) Webによる各医療機関における減塩の取り組みの紹介

対象は主として医療関係者であり、各施設でもこれならできると思わせることを目的とする。八田先生によるYoutubeへのアップも行っている。

医療機関の減塩活動報告が一段落すれば、一般の方の減塩の取り組み紹介も検討。

(3) 各国の減塩の取り組みについてWebなどで紹介予定。

形式はを、Webにするか、(1)(2)の中に分かりやすく組み込むかはまだ検討中。

・今後の展望

少しでも減塩の大切さを多くの人にご理解いただけるよう前進する所存です。

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022を成功
させようチーム

メンバー紹介（敬称略、順不同）

八田 告・土橋卓也・柘植俊直・工藤博司（敬
称略、太字：リーダー）

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022を成功 させようチーム

八田 告



- ・現在取り組んでいる活動

2022年11月に京都で開催するべく、準備を進めている。

開催目的は、「楽しく食塩消費量を減らす世界を創生する」、テーマとして「Salt Reductionを加速させるために、いま何をすべきか？」とした。

(1) 団体を対象としたフォーラム（Population Approachの共有）、Web開催

(2) 個人を対象としたフードマーケット（Individual Approachの実践）、Real開催
行政機関（厚労省、経産省、農水省）や「循環器病予防コンソーシアム」や「自然に健康になれる持続可能な食環境づくり検討会」とも連携していく。

- ・今後の展望

とにかく前進あるのみ！高血圧学会の皆様の温かいご支援を宜しく申し上げます！



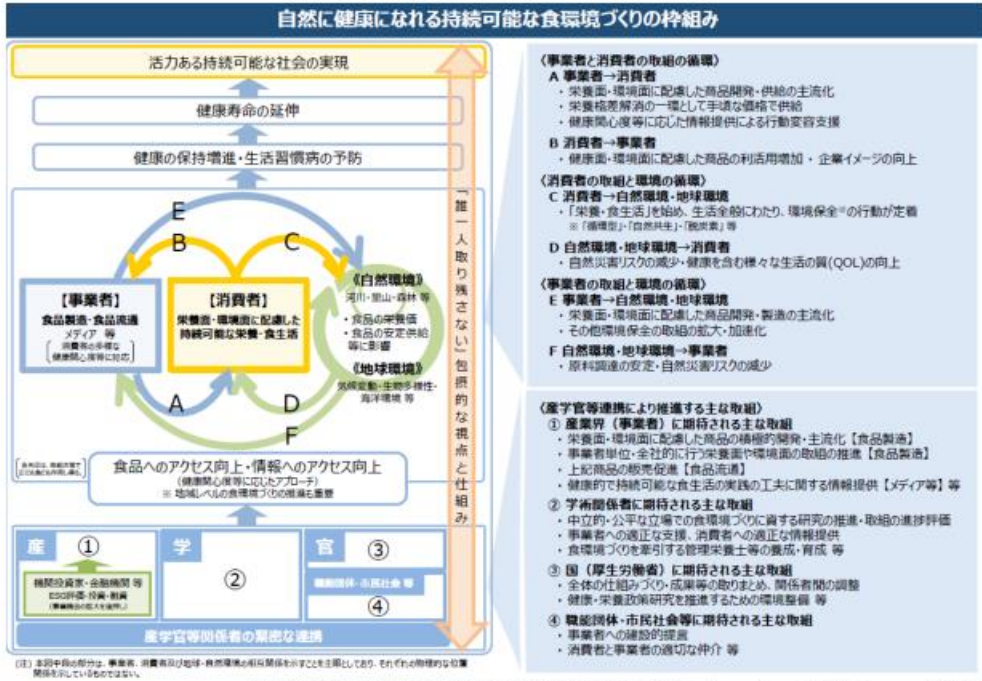
FORUM



MARKET

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022.11

～ Salt Reductionを加速させるために、いま何をすべきか？～



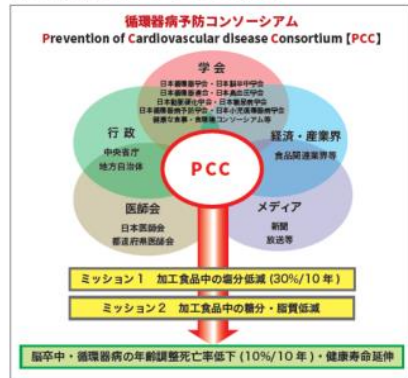
- 《事業者と消費者の取組の循環》
- A 事業者→消費者**
・栄養面・環境面に配慮した商品開発・供給の主流化
・栄養格差解消の一環として手頃な価格で供給
・健康関心度等に応じた情報提供による行動変容支援
- B 消費者→事業者**
・健康面・環境面に配慮した商品の利用増大・企業イメージの向上
- 《消費者の取組と環境の循環》
- C 消費者→自然環境・地球環境**
・「栄養・食生活」を始め、生活全般にわたり、環境保全への行動が定着
※「循環型」「自然共生」「脱炭素」等
- D 自然環境・地球環境→消費者**
・自然災害リスクの減少・健康を含む様々な生活の質(QOL)の向上
- 《事業者の取組と環境の循環》
- E 事業者→自然環境・地球環境**
・栄養面・環境面に配慮した商品開発・供給の主流化
・その他環境保全の取組の拡大・加速化
- F 自然環境・地球環境→事業者**
・原料調達の変遷・自然災害リスクの減少
- 《産学官等連携により推進する主な取組》
- ① **産業界（事業者）に期待される主な取組**
・栄養面・環境面に配慮した商品の積極的開発・主流化【食品製造】
・事業者単位・全社的に栄養面や環境面の取組の推進【食品製造】
・上記商品の販売促進【食品流通】
・健康的で持続可能な食生活の実践の工夫に関する情報提供【メディア等】
- ② **学術関係者に期待される主な取組**
・中立的・公平な立場での食環境づくりに関する研究の推進・取組の進捗評価
・事業者への適正な支援、消費者への適正な情報提供
・食環境づくりを牽引する管理栄養士等の養成・育成 等
- ③ **国（厚生労働省）に期待される主な取組**
・全体の仕組みづくり・成果等の取りまとめ、関係者間の調整
・健康・栄養政策研究を推進するための環境整備 等
- ④ **職能団体・市民社会等に期待される主な取組**
・事業者への建設的提言
・消費者と事業者の適切な仲介 等

自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/newpage_19522.html



**脳卒中と循環器病克服
第二次5か年計画**
ストップCVD(脳心血管病)
健康長寿を達成するために

図36 循環器病予防コンソーシアム(PCC)



3-1_STAGE1_生活習慣の質と血圧低下の展望予備：0次予防

すべての国民を対象として脳卒中・循環器病の発病リスクの低減を図るための生活習慣を適切に管理する(ゼロベースアプローチ)重点施策1) すなわち、減塩・禁煙・禁酒・身体活動増加や肥満者の減少を図るため、以下目標を設定した。

減 塩：1日の食塩摂取を本計画開始中の5年間で、高血圧や脳卒中発症者は塩分摂取量3g/日、高血圧と脳卒中発症がない人は1.5g/日減少させる。そのために、行政、産業界と連携して加工食品中の塩分含有量を10年間で30%減少させる。

(1) 啓発教育

- a. 国民への脳卒中・循環器病予防啓発キャンペーンの推進
- b. マスメディア・SNSや学校教育など様々な機会を捉えたら啓発活動
- c. 体系的に整理された啓発コンテンツの国民への提供
- d. 脳卒中センター・循環器病センターによる市民啓発活動の協働
- e. 特定健診・職場健診・高齢高齢者健診・人間ドックなどへの受診奨励
- f. 小中学生に対する脳卒中・循環器病の予防教育
- g. 次期学習指導要領に盛り込む脳卒中・循環器病の知識と予防教育、食育内容などの検討と提供
- h. 小中学校で使用する教育資料の作成
- i. 教員・学校医向けの講習

(2) 学術研究

- a. モデル地域を活用したゼロベースアプローチの実施
- b. 国と地域行政両方での循環器病予防コンソーシアムを基にしたナレッジ理論に基づく減塩・減糖・減脂に向けた研究の推進

(3) 事業

- a. 行政・保険者・産業界等と日本脳卒中協会・日本心臓病協会等が連携した循環器病対策基本法に基づいた社会的予防の促進
- b. 産学官が連携した循環器病予防コンソーシアムによる社会的予防の推進
- c. 食品や機材の検査制度導入と推進
- d. 教育委員会や小中学校と連携した生活習慣病に対する予防教育の導入
- e. IoTを用いたセルフモニタリングヘルスチェックの普及に向けた環境整備

(4) 医療経済学的検証

減塩・禁煙・禁酒の普及による6次/大次予防の経済効果

https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/08/JSAS_five_year_plan_2nd_20210817.pdf

運営委員

員会



委員長
八田 告 先生



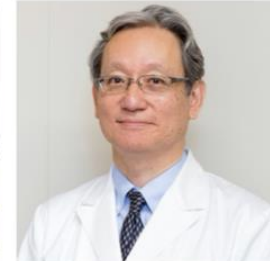
副委員長
土橋 卓也 先生



副委員長
日下 美穂 先生



委員
三浦 克之 先生



委員
野出 孝一 先生



委員
勝谷 友宏 先生

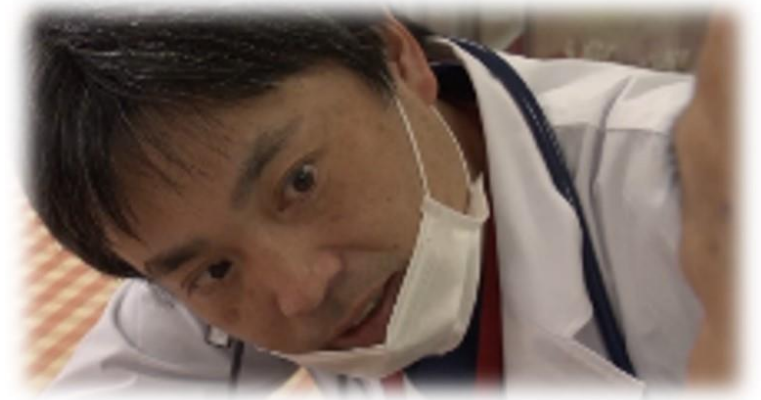
他 4名

減塩商品・クッキング啓発普及チーム

メンバー紹介（敬称略、順不同）

水田栄之助・日下美穂・安東克之・小園亮次・
八田 告（以下、敬称略、太字：リーダー）

減塩商品・クッキング 啓発普及チーム



水田栄之助

・現在取り組んでいる活動

1. 鳥取県産業技術センター・鳥取大学医学部附属病院栄養部と共同で地場産業を活かした減塩商品の開発に取り組んでいる

これまで「減塩干物」の開発に成功し境港市学校給食や鳥取大学医学部附属病院の病院食に採用された。現在第2弾として「サゴシ(さわらの幼魚・身が固く食用に向かない)のだし」や「身を取り出した後の紅ズワイガニ殻の粉末」といった「うま味」を効かした減塩商品の開発を味の素株式会社も加わって開発中である。

2. 米子市健康対策課・鳥取大学医学部と共同で地元スーパーに働きかけ「減塩惣菜」のレシピ開発を行っている。また島根大学・山陰合同銀行と共同で「美味しい減塩宅配食」の事業化を目指している。

惣菜・宅配食ともに新型コロナ流行にてニーズが高まっており、減塩する意義が高いと考えている。

・今後の展望

チームのメンバーを増やして各地の取り組みについて共有しあい、全国各地にこうした活動を普及させたい。

食育啓発チーム

メンバー紹介（敬称略、順不同）

高瀬浩之・成味 純・勝谷友宏・八田 告

（敬称略、太字：リーダー）

食育啓発チーム



高瀬浩之

- ・ 現在取り組んでいる活動

小学校の給食にどれだけの塩分が含まれているか、児童が認識できるように学校給食の内容と食塩量を把握してもらう試みを実行したいと考えている。浜松市内の某小学校がホームページにブログとして毎日の給食の写真をアップしていたので、そのブログに一食あたりのカロリーと塩分量を記載していただくよう依頼したが却下された。

- ・ 今後の展望

某小学校と同様に給食の内容を掲載している小学校・中学校がないか、当院の保健師さん達を通じて調査している。見た目と実食で塩分量がなんとなくでも解るようになったら、減塩の重要性を小中学校の先生を通じてでもよいので生徒さん達にお話しして、ディスカッションしてゆきたい。

「社会を変えたい実地医家の勢いある活動とJ-DOME推進」

実地医家部会企画

「実地医家の減塩対策についてーソルコンフェスティバルなど、実地医家部会
減塩推進WGの活動紹介」

*Salt reduction plan of physicians-salcon festival in kyoto 2022 as a salt reduction
promotion team*

八田 告/医療法人八田内科医院
日本高血圧学会実地医家部会中央委員/減塩推進WGリーダー

鳥羽 答志島にて日の出を臨む in GW, 2018

減塩推進WGメンバー紹介



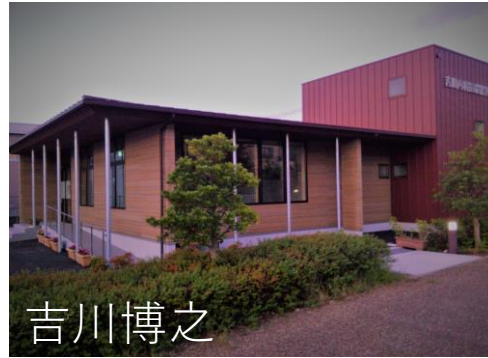
八田 告



成味 純



安東 克之



吉川 博之



柘植 俊直



高瀬 浩之



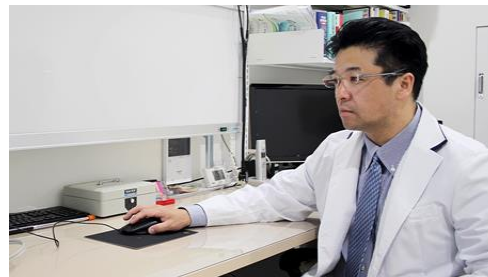
水田 栄之助



土橋 卓也



青木 聡一郎



野間 玄督



小園 亮次



工藤 博司



箕輪 均



第43回日本高血圧学会総会

The 43rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Hypertension

めんそーれ 実地医家部会！

高血圧診療は 実地医家の肩にかかっています
私たちのいろいろな活動にご参加ください

実地医家部会部会長 日下美穂
副部会長 勝谷友宏
宮川正昭

